

### 3R推進マイスター（地方推薦）紹介書

氏名	片亀 光(かたかめ ひかる)	
住所	群馬県佐波郡玉村町	
性別	男性	
誕生年	1959年	
職業・肩書き	NPO法人役員	
職業等	ONPO法人NPOぐんま代表理事	
行政委員の就任状況(現在)	○群馬県環境審議会委員 ○みどり市環境審議会委員 ○前橋市環境審議会委員 他	
連絡先	katakame@xp.wind.jp	
プロフィール	2010年 前橋市環境審議会委員 2009年 群馬県環境審議会委員、みどり市環境審議会委員 2006年 群馬県環境審議会専門委員、群馬県森林審議会委員、 環境カウンセラーズぐんま副会長 2005年 群馬県大規模土地開発事業審議会委員、群馬県環境基本計画策定委員会委員 2003年 下仁田町木質バイオマスエネルギー利用システム検討委員会委員、 群馬県木質バイオマス次世代技術研究会座長 2002年 群馬県木質資源利用懇話会座長、群馬県リサイクル産業基盤研究検討委員会委員、群馬県環境審議会公募委員、群馬県産業廃棄物処理施設確保対策研究会委員 2001年 群馬県河川整備計画審査会委員、群馬県都市計画審議会部会委員、 群馬県食品リサイクル研究会委員、群馬県木質バイオマス検討会委員 1999年 群馬県環境審議会専門委員(環境基本計画部会) 1997年 環境カウンセラー登録、玉村町生活環境対策審議会委員	
活動できる分野	①講演    ②パネリスト    ③ワークショップ ④その他 (    )	
講演の実施実績	2012.3 玉村町職員研修において、ごみ減量に対する行政の積極的な役割を含め講演。 @玉村町 2012.2 狭山市消費者団体連絡協議会主催の講演会において、省エネルギーとともに、ごみ減量について講演。 @狭山市 2011.12 高崎市環境保健協議会倉淵地区支部長を対象に、BDFプラントの視察とその後の研修を企画し、廃食用油リサイクルの意義と3Rについて講演。 @藤岡市・玉村町 2009.4.25 県立前橋工業高校PTA総会において講演(来場者約200名) 2009.2.27 JAぐんま女性大会において講演(来場者約250名) 2008.10.22 前橋市桂萱地区地域づくり推進協議会において講演(来場者約10名) 2008.9.28 ECOフェスタ2008において講演(来場者約100名) 2008.8.30 男女共同参画セミナーにおいて講演(来場者約100名)	

	<p>2008.8.7 JA関東甲信越地区女性組織リーダー研修会において講演(来場者約200名)</p> <p>※上記講演会の共通のタイトルは「ごみの減量」を含む環境関連テーマ</p>
パネリストとしての参加実績	<p>2012.6月、8月 渋川市エコ・リーダーズセミナーにおいて、渋川市のごみ排出の現状と課題についてのフォーラムのコーディネーターを務めた。 @ 渋川市</p> <p>2009.6.1 環境シンポジウムにおいてパネリスト(中央環境審議会総合政策部会主催)</p> <p>2008.11.14 「リユース食器フォーラムinいせさき」において、パネルディスカッション「リユース食器の使用推進の方法を探る」のコーディネーター</p>
その他普及啓発活動の参加実績等	<p>2012.1 ①グリーンコンシューマー群馬ネット幹事会にて、レジ袋削減の進め方についてキャッシュバック方式も含めて検討すべきと発言。</p> <p>②群馬県環境審議会において、生活系ごみ排出量で全国上位にある現状を踏まえ、積極的な排出抑制対策が必要であると発言。</p> <p>@群馬県庁</p> <p>2011.10 エフエム群馬コスモアースコンシャスアクトinぐんまにて、参加者に3Rの重要性をアピールした。 @前橋市嶺公園</p> <p>2007年 NHK教育テレビ「どーする?地球のあした」の質問コーナー回答者としてNHKホームページを通じて子どもたちからの質問に回答</p> <p>2005年 上毛新聞オピニオン21欄 「ごみの有料化～冷静に検討すべき時期」掲載</p>
特記事項	<p>環境学習講座の講師としての実績</p> <p>2010.6.30 高崎市立城東小学校4年生対象にリサイクルに関する講義</p> <p>2010.5.6/5.20 育英短期大学保育学科総合演習(受講者約200名)</p> <p>2009.4.23 育英短期大学保育学科総合演習(受講者約200名)</p> <p>2008.4.24/5.8 育英短期大学保育学科総合演習(受講者約200名)</p> <p>2004.4～ 高崎経済大学非常勤講師として「環境保全論」「環境教育論」を担当</p>
推薦者(担当)	群馬県(環境森林部廃棄物・リサイクル課)
推薦理由	<p>一般廃棄物の3Rを中心とする環境問題について講演会講師、パネリストや環境学習講座講師を務めるなど相当の実績があり、また、容器包装廃棄物の排出抑制の活動推進に熱意と識見を有するなど推薦の要件を十分満たしていることから、推進員として適任であると考えられるため上記候補者を推薦する。</p>